

2026 年度

名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻

博士前期課程 建築学コース

入学試験問題

専 門 科 目 I (計画系・設計製図)

【 計 画 系 】

一般選抜 (普通入試)

留学生特別選抜

社会人特別選抜

令和 7 (2025) 年 8 月 21 日 (木) 13:30~14:30

受験番号	
------	--

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、計画系の問題である。問題は
この表紙および白紙 1 枚と、問題 5 枚の計 7 枚からなる。また、問題は計画 1 から
計画 5 の 5 問がある。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し
出ること。
- 2) 計画 1 から計画 5 の中から 2 問を選択し解答すること。
- 3) 本冊子のホチキス止めを外さないこと。
- 4) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。試験終了後、本冊子も提出
すること。
- 5) 答案は日本語で解答すること。

計画 1

ミース・ファン・デル・ローエ (Mies van der Rohe, 1886-1969) の建築における地上階と基壇について、ヨーロッパ時代とアメリカ時代の代表的作品における部材の特徴をそれぞれ挙げて、以下の 6 つの語句を全て用いて 250 字程度で説明せよ。

語句：クラウン・ホール、バルセロナ・パヴィリオン、十字形平面、I 字形平面、
被膜の外側、被膜の内側

計画 2

アメリカ人建築家フランク・ロイド・ライト (Frank Lloyd Wright, 1867-1959) が設計した帝国ホテル (1923 年竣工) について、彼が、この建物の玄関部分において新たに示した建築空間の設計手法を、次の語句をすべて用いて 300 字程度で説明せよ。

語句：ヴォリューム、連続、扉、吹抜、天井高

計画 3

1. 石川栄耀の名古屋と東京における都市計画の取り組みを計 150 字程度で説明せよ。
2. 2000 年以降のランドスケープ・デザインを用いた国内外の都市開発の事例を 1 つ挙げて、都市計画におけるランドスケープの主たる役割について 200 字程度で説明せよ。

計画 4

1950 年代から 2000 年頃までのわが国の公共図書館の建築計画の変遷を、下記の語句を全て用いて、300 字程度で説明せよ。なお、下記の語句については初出の箇所の下線を引くこと。

語句：自習、図書館数の増加、大規模化、滞在型

八戸市立図書館（1960）、せんだいメディアテーク（2000）

計画 5

木造の勾配屋根における和小屋と洋小屋の違いを、断面スケッチ（縮尺不問）を描いたうえで、それぞれの構法の特徴について計 150 字程度で説明せよ。断面スケッチには主要な部材の名称を記入すること。